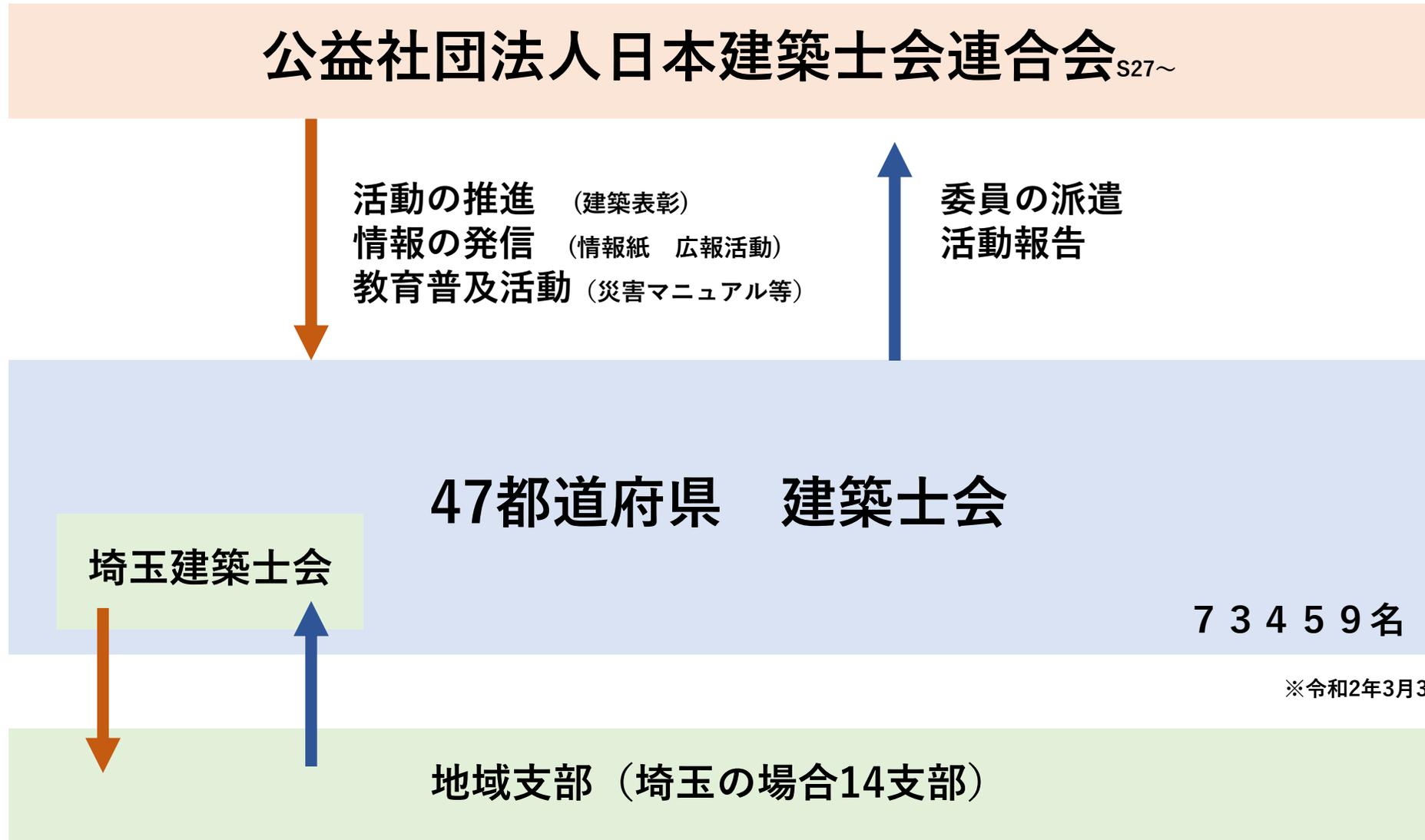
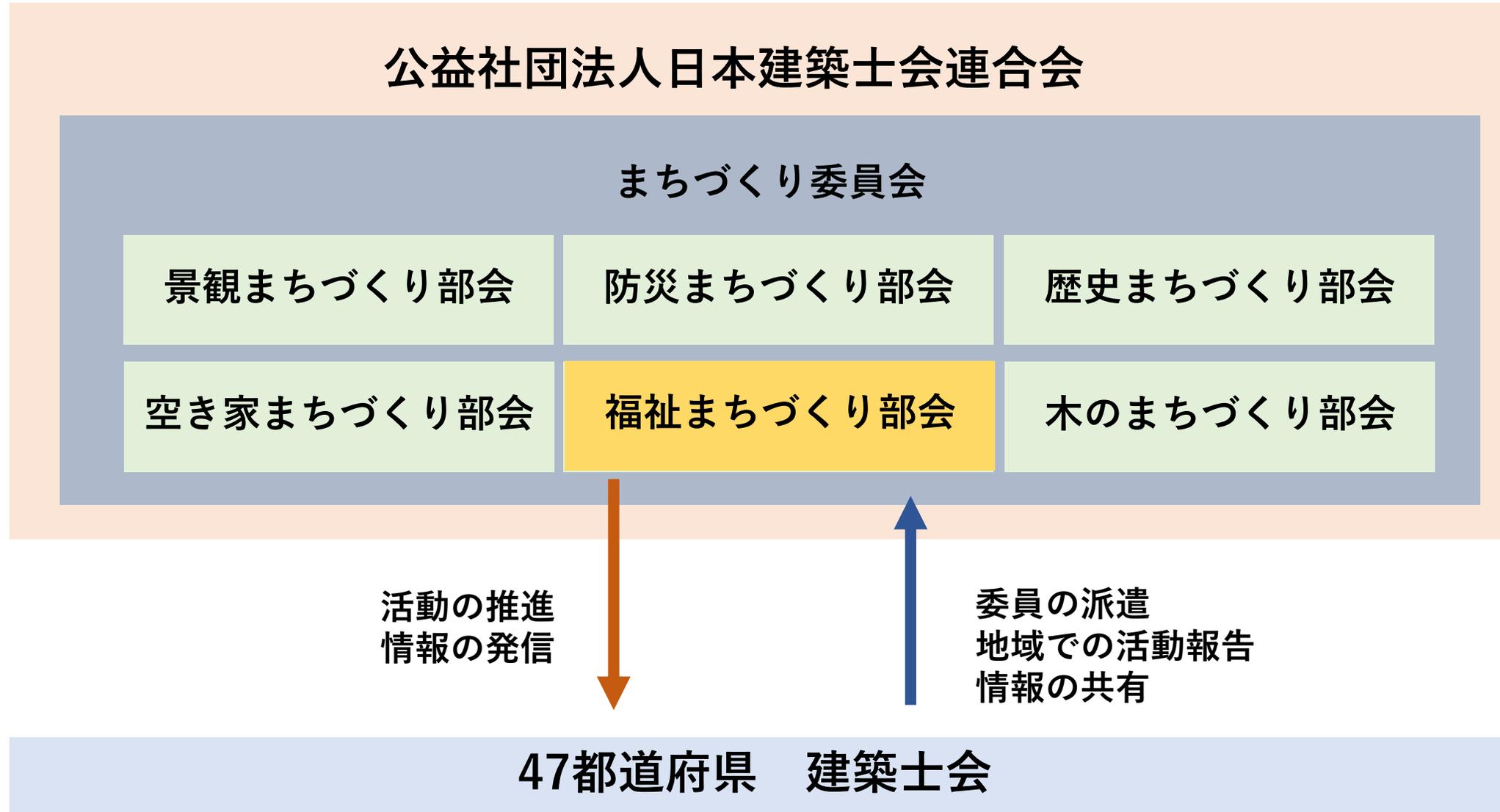


日本建築士会連合会
福祉まちづくり部会紹介

1. 建築士会(福祉まちづくり部会)紹介
2. 建築士に対する普及周知の取組
3. 建築士の技術力向上に向けた活動





福祉まちづくり部会

建築士の福祉分野への理解を深め、福祉の住まいづくり、まちづくりに対応できる人材を育て「国民」に必要とされる建築士になることを目標とする。

「福祉の住まいづくり」

高齢者等の居住環境整備に関して、建築士の地域活動の一つとして、様々な専門家と連携し、高齢者等の住宅改善に寄与できる人材を育成を図る。また先進的な事例の共有を図る

「福祉のまちづくり」

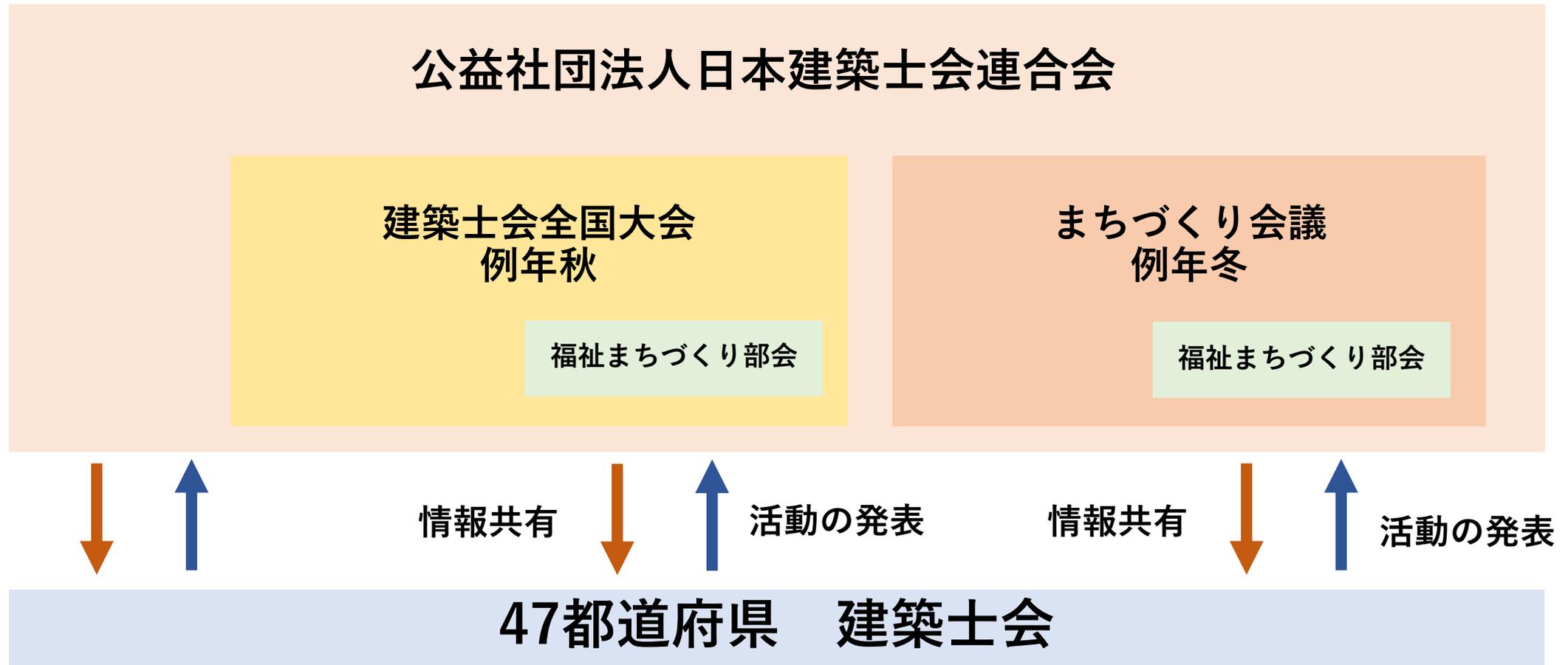
居住以外の建築や交通・情報等の都市インフラ、等に関わる活動を対象とし、近年では、「オリンピック・パラリンピック」「観光バリアフリー」をテーマに情報共有や事例の共有を図る

- ・ 厚生労働省の地域包括ケアシステム
- ・ 医療、介護等 異業種専門との連携

- ・ 「観光バリアフリー」
- ・ 「小規模店舗」「宿泊施設」

2. 建築士に対する普及周知の取組

建築士に対する普及周知の取組



COVID19以前は、メールでのやりとり + 年2回の大会であったが...

各都道府県の支部が企画した勉強会にオンラインで他の都道府県から参加が可能になっている。

3. 建築士の技術力向上に向けた活動

建築士の技術力向上に向けた活動

市民と行う鳴門市 「ユニバーサルデザイン点検会」

『気づくこと そこからはじまる ユニバーサル』

2010年～ 7回開催

徳島県建築士会 鳴門支部
バリアフリーデザイン研究会
が中心になる活動

特徴：
行政、市民、建築士等専門家の参加

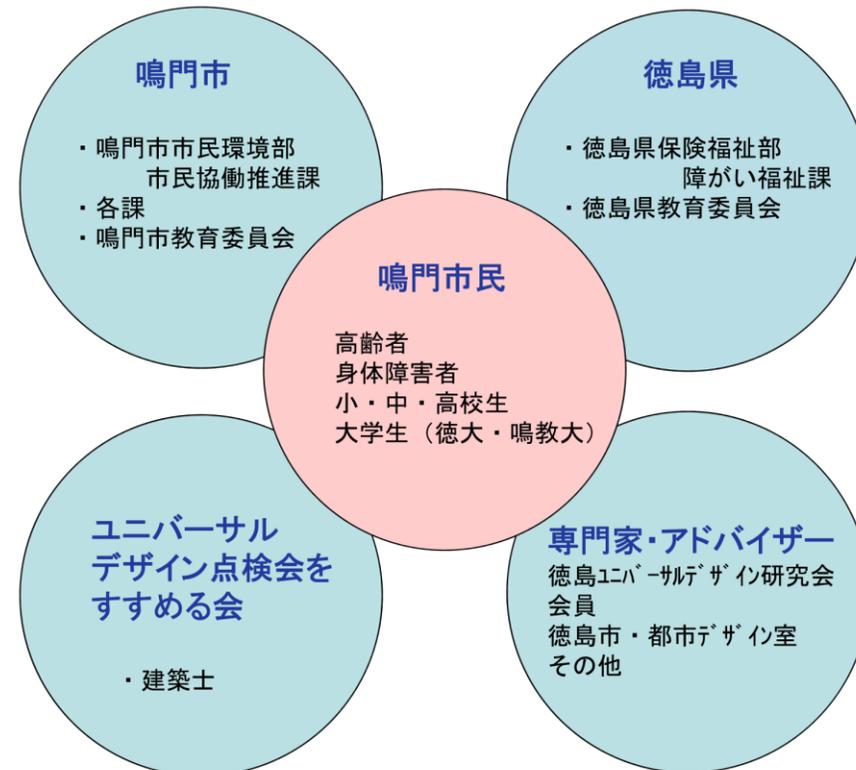
はじめに

市民と行う 鳴門市「ユニバーサルデザイン点検会」について

ユニバーサルデザイン点検会をすすめる会

点検会をすすめる会（建築士会）では少子高齢化の流れが加速する社会状況の中、子どもや高齢者、障害者が安心して暮らせる住まいや身近なまちの環境づくりに関して、様々な研究や実践活動を行って参りました。
徳島県はユニバーサルデザインのまちづくりを積極的に推進しており、点検会をすすめる会としても、このような動きに関する啓発活動の一環として、多くの住民が日常利用する公共施設を、高齢者や子どもたち、障害者などの視点で、だれにでも使いやすい公共施設かどうかを点検し、ユニバーサルデザインの点検会を開催し、ひとにやさしいまちづくりの普及と進展に役立ちたいと考えております。

■実施体制のイメージ



●基本姿勢・・・それぞれが主体事業として取り組む

建築士の技術力向上に向けた活動

第7回開催時

参加者：42名 鳴門市立図書館

座学→点検（3班）→ワークショップ→発表
（良いところ、改善点、改善策）

第7回 市民と行う

ユニバーサルデザイン点検会

【点検日時】 令和元年11月24日(日)13:00～17:15
(受付12:45～13:00)

【集合場所】 鳴門市立図書館 3階 展示室

【点検場所】 鳴門市立図書館と外回り空間

【内 容】 施設内外を参加者のみなさんと点検し、ワーク
ショップを行います。

【対 象】 鳴門市民:高齢者・車いす使用者・視覚障害者
中学生・高校生・大学生・その他

【問合せ先】 ユニバーサルデザイン点検会をすすめる会
担当@河村 TEL080-0000-0000

鳴 門 市： 鳴門市民環境部市民協働推進課、関係各課
鳴門市教育委員会

徳 島 県： 徳島県保健福祉部障がい福祉課在宅サービス指導担当
徳島県教育委員会

主 催： ユニバーサルデザイン点検会をすすめる会

※当該事業はポートレース鳴門の収益で実施、ポートレース鳴門プレゼンツ
WeLoveなるとまちづくり活動応援補助金を活用しています。

建築士の技術力向上に向けた活動

■メリット

○改善点の抽出→施設の改善 (行政や施設管理者への声を届ける)

○条例等へのフィードバック (竣工時のバリアフリー条例の検証)

○大学生、市民の興味関心 (他者を知ること、知識を得ること 相互理解)

○建築士のスキルアップ (利用実態の観察、考察、生の声を聴く)

日本建築士会連合会 福祉まちづくり部会として、
各支部等の活動の情報を共有、推進し、また、得た情報を各建築士に伝える役割を担う

■最後に

○公共建築等の新築、および大規模修繕計画の中にバリアフリーWSが組み込まれるのが理想

日本建築士会連合会 福祉まちづくり部会として、できること

○バリアフリーWSの企画・運営ができる建築士養成（他地域企画への参加）

○建築士会内部の興味関心 部会に参加する人数を増やす（ボランティアからの脱却）

○建築士が各種団体、行政などとの連携ができるような準備